



現代中国研究叢書

『中国経済学の40年(1978-2018)』

**発売 2025 年
8 月 日!**

定価 本体6,800円+税
796頁 A5 上製 C3033
ISBN 978-4-910326-17-7
対象年齢 一般

➤ 改革開放以来の中国経済学発展を総括した大作!

- ◇本書は、「経済研究の傑出した貢献者」という国家荣誉称号の受賞者張卓元を筆頭に、中国の著名な経済学者が書き著したもので、改革開放以来 40 年間の中国経済改革および発展の非凡な業績と、その非凡な業績を反映する中国経済学研究の大きな進展を全般的に著した。
- ◇本書を通じて、中国の改革開放、経済発展および経済学研究に対してより深く理解できる。

目次

総論	中国経済理論研究の探索およびイノベーション
第一章	社会主義市場経済論の創建および発展
第二章	社会主義初期段階理論の確立
第三章	社会主義基本経済制度理論の確立および発展
第四章	企業理論のイノベーションおよび発展
第五章	社会主義市場体系の建設およびその理論のイノベーション
第六章	価格改革における成功の実践と理論のイノベーションとの相互促進
第七章	産業構造および産業組織論
第八章	中国の特色あるマクロ経済管理理論の研究およびイノベーション
第九章	中国の財政税務体制改革の道
第十章	中国金融理論のイノベーションおよび発展
第十一章	所得分配理論のイノベーションおよび発展
第十二章	「発展こそ硬い道理」、科学発展観から新発展理念へ
第十三章	中国市場化経済改革における「三農」問題
第十四章	地域経済理論研究の主要な進展およびイノベーション
第十五章	自然資源経済学の探索および発展
第十六章	経済成長方式の転換および供給側の構造的改革
第十七章	対外開放理論の発展および振り返り
第十八章	中国の特色ある社会主義政治経済学の構築

現代中国研究叢書

中国経済学の40年 (1978-2018)

【著】張卓元
【監訳】生田貴穂
【訳】金洪杰

**中国経済学の40年の
歩みと理論・実践の変遷**

樹立社

【著者紹介】張卓元(ちょうたくげん)

「経済研究の傑出した貢献者」という国家荣誉称号の獲得者で、中国社会科学院学部委員、中国社会科学院経済研究所研究員である。彼は、社会主義市場経済体制に関する重要な提唱者、解釈者および推進者中の一人であり、中国経済学界における「穏健な改革派」の代表的な主要人物の一人でもある。研究分野は、価格改革、国有企业改革、社会主義市場経済の基本理論、中国現代経済思想史などに及ぶ。主な著書は『社会主義価格理論と価格改革』、『張卓元改革論集』、『新中国経済学史綱(1949-2011)』などがあり、国内外の主要学術誌に数多くの論文を発表した。

【監訳者紹介】生田貴穂(いくたたかほ)

北京語言学院にて中国語を研修後、本科生として北京大学に入学(専攻は中国文学)。卒業後、中国経済貿易大学日本語学科にて教鞭を執る(中→日翻訳)。その後、ヴェトナムに渡り、ハノイの「ヴェトナムの声」放送局にて日本語アナウンサーの養成訓練を担当(4年間)。日本帰国後は主に文化・教育関係の資料翻訳に従事し、今日に至る。翻訳作品は『法治に向けて』、『一冊で分かる中国史』である。

【訳者紹介】金洪杰(キンコウゲツ)

中国空軍工程大学航空機械学部卒、大阪府立大学大学院経済学研究科修了。現在大阪市のとある会社にて技術翻訳に従事。

注文書



樹立社

FAX:03-6261-7897 【新刊委託】

部

現代中国研究叢書

『中国経済学の40年(1978-2018)』

ISBN 978-4-910326-17-7 C3033

著/張卓元
監訳/生田貴穂
訳/金洪杰

定価: 本体6,800円+税

796頁 A5 148×210×32 上製